

令和4年度 釧路森林室立木販売重点目標

釧路 森林室

1 資源や技術力を活用した地域貢献

当管理区では、トドマツを中心とする人工林資源が利用期を迎えていることから、今後も、トドマツを中心に主・間伐を適正に実施する。

また、これまで管理区から供給される木材は地域の製材工場に安定供給されることで、建築材、梱包材、土木資材、魚箱、敷料、製紙用チップ等、様々な用途に加工されている。

このことから当森林室では、地域の木材産業の経営安定化、木材生産を通じた地域経済の振興のためにも、トドマツ原木を中心に安定的に供給することが地域に貢献する役割と考えており、そのための販売を進める。

特に、当管理区から産出する材を用いて公共建築物、店舗、住宅等の建築資材としての利用を進めるなど、地材地消を図る協定販売を実施する。

2 木質バイオマス燃料材の安定供給

道内有数の酪農地帯である根釧地域は、かねてより牛舎敷料用としてのおが粉・バークの需要があることから、当森林室は引き続き立木販売先を通じて、地域の敷料等の木質バイオマス利用者への安定供給に取り組む。

3 販売目標量

(販売目標量について、上記取組に基づき記載する)

(1) 総販売量

24,600 m³

○一般競争入札

10,700 m³

○うち「CoC」限定入札 (森林認証取得地域の場合)
m³

○協定販売

5,000 m³ (うち新規 m³)

うち地域貢献		うちバイオマス	
	うち新規		うち新規
5,000m ³	m ³	m ³	m ³

○長期安定供給販売

0 m³ (うち新規 m³)

○その他販売

8,900 m³

(2) オープンカウンター販売

1 件

(注) 販売量は立木材積である。「うち新規」とは、当該年度に新たな協定を締結し、立木を販売するものである。